

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和5年2月9日(2023.2.9)

【公開番号】特開2021-129964(P2021-129964A)
 【公開日】令和3年9月9日(2021.9.9)
 【年通号数】公開・登録公報2021-042
 【出願番号】特願2020-28372(P2020-28372)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0
 A 6 3 F 7/02 3 2 4 A
 A 6 3 F 7/02 3 3 4
 A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和5年2月1日(2023.2.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
 遊技媒体を貯留可能な貯留部と、
 遊技媒体を払出すことが可能な払出部と、
 上面が開口し、前記貯留部の遊技媒体を前記払出部に誘導する誘導通路を形成する誘導
 通路形成部と、

30

前記誘導通路形成部の上面の一部を覆うように設けられたねじ落下制限部と、
 擬似可動体表示を第1表示位置から該第1表示位置と異なる第2表示位置に移動表示可
 能な表示手段と、

第1位置から該第1位置と異なる第2位置に移動可能な可動体と、
 を備え、

前記ねじ落下制限部は、該ねじ落下制限部上に落下した遊技媒体が滞留せずに、かつ該ね
 じ落下制限部上に落下したねじ部材が前記誘導通路形成部へ落下せずに該ねじ落下制限部
 上に滞留可能に構成されている、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

40

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

手段Aの遊技機は、
 遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
 遊技媒体を貯留可能な貯留部と、
 遊技媒体を払出すことが可能な払出部と、

上面が開口し、前記貯留部の遊技媒体を前記払出部に誘導する誘導通路を形成する誘導

50

通路形成部と、

前記誘導通路形成部の上面の一部を覆うように設けられたねじ落下制限部と、

擬似可動体表示を第 1 表示位置から該第 1 表示位置と異なる第 2 表示位置に移動表示可能な表示手段と、

第 1 位置から該第 1 位置と異なる第 2 位置に移動可能な可動体と、

を備え、

前記ねじ落下制限部は、該ねじ落下制限部上に落下した遊技媒体が滞留せずに、かつ該ねじ落下制限部上に落下したねじ部材が前記誘導通路形成部へ落下せずに該ねじ落下制限部上に滞留可能に構成されている、

ことを特徴としている。

10

手段 1 の遊技機は、

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機 1）であって、

遊技媒体（例えば、遊技球 P）を貯留可能な貯留部（例えば、球タンク形成部 201）と、

遊技媒体を払出すことが可能な払出部（例えば、払出装置 200）と、

上面が開口し、前記貯留部の遊技媒体を前記払出部に誘導する誘導通路（例えば、第 1 誘導通路や第 2 誘導通路）を形成する誘導通路形成部（例えば、第 1 誘導通路形成部 202 や第 2 誘導通路形成部 204）と、

前記誘導通路形成部の上面の一部を覆うように設けられたカバー部（例えば、第 1 カバ

20

ー体 310、第 2 カバ

ー体 320、第 3 カバ

ー体 330）と、

擬似可動体表示を第 1 表示位置から該第 1 表示位置とは異なる第 2 表示位置に移動表示

可能な表示手段と、
第 1 位置から該第 1 位置とは異なる第 2 位置に移動可能な可動体と、
演出を実行可能な演出実行手段と、
を備え、
前記カバー部に、該カバー部上に落下したねじ部材（例えば、ねじ部材 N1 ~ N6、N11 ~ N16）の前記誘導通路形成部への落下を制限するための所定制限部（例えば、長孔 316A ~ 316C、凹溝 326A ~ 326C、凹部 336）が設けられ（図 22、図 24 参照）、

30

前記誘導通路形成部に、該誘導通路形成部に落下したねじ部材の前記払出部への移動を制限するための特定制限部（例えば、孔部 271A ~ 271H）が複数設けられており（図 11、図 12、図 27 参照）、

前記演出実行手段は、

前記擬似可動体表示を前記第 1 表示位置から前記第 2 表示位置に移動表示させる擬似可動体表示演出と、

前記可動体を前記第 1 位置から前記第 2 位置に移動させる可動体演出と、

を実行可能であり、

前記演出実行手段により所定期間において前記可動体演出と前記擬似可動体表示演出とが実行されるときの方が、前記演出実行手段により前記所定期間において前記可動体演出が実行されずに前記擬似可動体表示演出が実行されるときよりも前記有利状態に制御される割合が高い、

40

ことを特徴としている。

この特徴によれば、カバー部上に落下したねじ部材が誘導通路形成部内に落下することを防止することができる。また、誘導通路形成部内に混入したねじ部材が払出部に混入することを防止することができる。また、可動体演出と擬似可動体表示演出とが実行されることに遊技者を注目させることができる。

50